

東京女子大学学会 経済学部会 講演会

稲場雅紀さん

(一般社団法人 SDGs 市民社会
ネットワーク政策担当顧問)

「人々の健康をはばむ
知的財産権と貿易ルール
～医薬品アクセスから
食の安全まで」

日時：2019年12月9日(月)
14:55~16:25

場所：6112 教室



アフリカをはじめ全世界でエイズが猛威をふるう中、治療薬が高価で発展途上国の貧しい人々に届かない。今から20年ほど前のことでした。当時、WTO（世界貿易機関）では製薬会社の知的財産権（特許権）と人々の健康への権利をめぐる先進国と途上国が激しく対立しました。その後、国際社会の粘り強い取り組みにより、途上国でも多くの人々がエイズ治療薬を入手できるようになりました。医薬品の特許権保護に柔軟性を確保したWTOのドーハ宣言はSDGs（国連「持続可能な開発目標」）でも触られています。本講演ではまずこの過程を振り返ります。しかし、「知的財産権と医薬品アクセス」や「貿易ルールと健康」の問題は根本的に解決されたわけではありません。新たな課題を含め最近の動向もお話します。

プロフィール：90年代に横浜・寿町の日雇労働組合での医療・生活相談活動、レズビアン・ゲイの人権課題への取り組みを経て、2002年より（特活）アフリカ日本協議会の国際保健部門ディレクターとしてアフリカのエイズ・保健問題に取り組む。2009年より「ミレニアム開発目標」（MDGs）の達成を目指すNGOネットワークの責任者を務めたのち、2017年、（社）SDGs市民社会ネットワークを設立し、代表理事、専務理事を歴任。現在は政策担当顧問として、SDGsの普及や政策提言に取り組む。共著書に『SDGsを学ぶ：国際開発・国際協力入門』（法律文化社）、『対テロ戦争』と現代世界』（お茶の水書房）など。

※どなたでもご参加いただけます。
お問い合わせは経済学専攻オフィスにメールで。
economics@lab.twcu.ac.jp

